

# 市議会 だより

VOL.169

## Contents

特集	2
代表質問・一般質問	4
第1回定例会の議案の概要	19
議会活動レポート	30
市民の声/次回定例会	31

特集

## 東広島の18歳選挙



乗越議員、重光議員が聞く

# 東広島の 18歳選挙

表紙写真／話をお聞きした皆さん  
と西山校長

今回は、「東広島の18歳選挙」をテーマに、  
広島県立河内高等学校の生徒さんと先生にイ  
ンタビューしました。

## プロフィール



くろぎ ゆいさん  
黒木 唯さん



まつなが まさあきさん  
松永 昌明さん



くりはら たくや先生  
栗原 拓弥先生



さとう こうへいさん  
佐藤 航平さん



しょうじ かずきさん  
正路 和樹さん



しながわ うららさん  
品川 麗さん

## 18歳選挙をきっかけに 政治に関心が持てたらいい

**Q** 政治や議会について興味・  
関心がありますか。

**黒木** あまり具体的に考えたこ  
とは無いんですけど、今はいじ  
めの防止対策について関心があ  
ります。

**正路** 例えば憲法改正などは実

感が湧かず、あまり関心が持て  
ないんですが、県や市の身近な  
話題であれば少しは関心が持て  
ます。

**松永**

領土問題や北朝鮮の問題  
などのニュースに結構関心があ  
ります。身近では、空き家をど

う利用していくのかについて気  
になっていきます。

**品川**

割と関心がある方で、毎  
朝ニュースも見ます。また、中  
学の時にも子ども議会に参加させ  
ていただいて、その場で色々な  
意見を交わすことを体験したの

で、議会にも関心があります。  
**佐藤** 消費税増税などの身近な  
問題から、憲法9条改正などの  
自分たちの国の安全面に関する  
問題まで、結構関心を持ってい  
ます。

**Q** 18歳に選挙権が与えられた  
ことに対してどう思いますか。

**栗原** 若い世代の声を政治に  
もっと取り入れることができる  
ので、この点は非常に納得でき  
ます。ただ、十分な情報を持つ



ていないまま選挙に参加して、それがどのように影響していくのかってというのが不安なところ  
です。

**品川** 良い面としては大人とは違う視点で物事を見て考えることができる。でも逆に知識があまりない状態での意見ってどうなのかなという思いもあります。

**佐藤** あまり賛成できません。情報もなく誰に投票していいのか分からない場面も考えられるし、ちゃんとした人を選ぶことができるのか不安があります。

**正路** 高校時代に選挙権が与えられることで、学校で十分に選挙の勉強ができると思うので、とても良いことだと思います。

**松永** 若者の意見ってすごく大事だと思うので、良いことだと思います。

**黒木** 少子高齢化で投票する人が少なくなります。18歳選挙をきっかけに政治に関心が持てたらいいんじゃないかと思えます。

**Q** 先生から指導者としての思いをお聞かせください。

**栗原** 現在、模擬投票を実施したりしていますが、就職や進学していく生徒たちに対し社会に関心を持ってもらえる取り組みを、どんどんやって行きたいと思えます。

ただ、3年生は選挙権を持っている生徒と、持っていない生徒が混在しています。また、当然高校に在学していない子もいますし、選挙権を持たない外国籍の生徒もいます。この子達に対する選挙教育はどうするのかについて課題があると思います。

**Q** みなさん選挙に行きますか。  
**正路** 行きたいと思えますが、まず政治自体にもっと興味を持つことから始めたいと思えます。

**品川** 今日の話を聞いて、ますます行かないといけないと思えました。

**松永・黒木・佐藤** 行きたいと思えます。



創生会  
いけだ たかおき  
池田 隆興

質問した項目

- 新年度予算について
- 成長を支える財政運営の方針について
- 東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

まち・ひと・しごと

創生総合戦略について

新年度予算の特徴と  
地方創生事業について

質問

新年度予算について、特に力を入れた事業や本市の特徴を生かした事業について問う。

また、本市の地方創生事業は、5つの基本目標に沿って、事業の推進を図っていくものと考えているが、基本目標の中でも特に力を入れようとされている分野は何か。

答 弁／藏田市長

東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策において、新3本の矢に対応する予算の重点化を図り、積極的な展開を図る。

また、成長エンジン東広島の実現、未来の東広島人の発掘、東広島学園都市力の発揮、特にこの3つを基本目標に積極的に施策展開を行っていきたい。

成長を支える財政運営の方針について

質問

①地方交付税合併算定がえの終息、合併特例債事業の終えんにより歳入が減少し、財政状況は厳しくなるが、所見を問う。②厳しい状況を打破していく具体的な所見を問う。

答 弁／石丸財務部長

①情勢の変化などによって、数値は変動するが、財政の硬直化が進むものと予測している。今後とも、財源不足を補うために基金の取り崩しは避けられず、厳しい財政運営を余儀なくされる。②財政運営の方針は、一定の投資的経費を確保するとともに、東広島



市まち・ひと・しごと創生総合戦略を実施するための事業費を確保し、本市の魅力を高め、新しい人の流れを生み出し、活力を高めていく施策に重点を置くこととしている。  
**人々から選ばれる人口20万都市について**

質問

①20万都市実現のための具体的政策を問う。  
②中央部と周辺部との一体的な発展に対する考えを問う。

答 弁／前延企画振興部長

①グローバル経済の影響を受けにくい産業構造への転換、また、移住・定住の促進、このほか、子育て・教育環境の充実に資する施策など、総合戦略に盛り込んだ重点施策を実行段階に移し、人口20万都市の実現に向けて挑戦したい。  
②本市の強みを生かした施策を展開する一方で、弱みを克服する観点から大切な分野で

会派所属議員

池田 隆興	岩崎 和仁	貞岩 敬
岡田 育三	坪井 浩一	北林 光昭
加藤 祥一	重森佳代子	鈴木 利宏

※平成28年4月現在

あると認識しており、中山間地域における拠点性の向上につながる施策を展開する。

## 企業誘致や定住促進のために有効な施策を

質問

成長エンジン東広島の実現の中に、企業誘致や新産業の創出などが記載されているが、産業力の強化の中でも、特に製造業の支援強化策について、具体的な取り組みを問う。

答 弁／前藤産業部長

製造業の支援強化策について、具体的な取り組みとしては、本市産業振興施策の指針となる東広島市産業活性化方策を策定し、方策に沿った施策を積極的に展開している。

## 「未来の東広島人」について

質問

地方創生事業として注目されている地域おこし協力隊、



寺家地区産業団地イメージ図

また、住民自治協議会と行政が一体となって隊員をサポートし、地域にイノベーションの風を起こす、小さな拠点づくりの今後の取り組みを問う。

答 弁／前延企画振興部長

生活に必要な、あるいは利便性向上のための機能を確保することで小さな拠点の基盤を整備し、地域おこし協力隊の導入や定住促進策の実施により、地域の活性化を図る必要がある。特に、協力隊をはじめとした移住者は、新たな視点で地域を見て、在住者には見えにくい魅力や資源、ビ

ジネスチャンスを見つけ、また、その効果を地域に広げ、新しい風を起こすものと考えており、活動をサポートすることで一層の定住促進や地域活性化を図りたい。

## 学園都市の特徴を生かす施策について

質問

市内には大学や試験研究機関が数多く存在し、知的資源や優秀な人材が集積している。これらを生かし、産学官が連携し、ネットワークの形成を図る必要があると思うが、今後どのように取り組むのか。

答 弁／榎原副市長

本市の強みを生かし、産学金官の推進を図るため、市内10機関と東広島市産学金官連携推進協議会を設立している。本協議会は、産学金官マッチングイベント事業など、新産業・イノベーションの創出に資する事業に取り組んでいる。

今後も、引き続き、産学金官そして地域との連携強化を図りながら、学園都市力の機能を最大限に発揮したまちづくりを推進したい。

## 「子育てするなら東広島」を実現する方策は

質問

①若い世代が本市へ移住・定住を考える際、隣接市町と比べて子育て支援が充実していることが動機づけになるが、本市を選択する子育て施策は何か。②教育環境の充実として、一小学校区に必ず地域センターや生涯学習センターが必要ではないか。③小中一貫・接続教育の進捗を問う。



小中一貫接続教育に取り組む高美が丘小学校

下川教育長  
和田福祉部長

①市内の各地域に地域子育て支援センターの設置、放課後児童クラブを午後7時まで運営、来年度は、出産・育児サポートセンターの設置、日帰り型産後ケアの実施を予定している。また、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」では、保健師または助産師の資格を有する職員が訪問し、専門的な助言や指導を行う体制をとっている。

②小学校区には、集会所等の何らかの施設がある。今後も引き続き、既存施設を活用し、生涯学習を推進したい。

③高美が丘小中一貫校については、平成28年度早々に、保護者・地域への説明を行い、早い段階で建築設計業務に着手する計画としている。志和小中一貫校については、現在3小学校区全てに、住民説明会を進めている。今後は、3

地区合同の統合協議会の設置を目指し、平成28年度半ばには合意形成を図り、用地測量、そして造成設計と建築設計業務の着手まで進めたい。

### 医療環境充実の中で 在宅医療の推進を！

#### 質問

近年、医師会を中心に在宅医療への関心が高まっており、多くは自宅での療養を望んでいるが、現実には8割の方は病院などで亡くなっておられる。市としても地域包括ケアシステムの構築の中で、在宅医療・介護連携の支援を行うとされているが、今後どのように取り組まれるのか。



和田福祉部長

今年度から、医師会や歯科医師会などの関係者等で構成する在宅医療・介護連携推進会議を開催し、この会議での協議を踏まえ、在宅医療・介護連携推進事業を東広島地区医師会に委託した。

今後、医師会の地域連携室「あざれあ」と連携をしながら取り組む。また、在宅医療の推進に当たって、かかりつけ医を持つことも重要で、健康教室などを通じて啓発をする。こうした取り組みにより、地域に密着した医療体制の構築に努める。

### 安心・快適な東広島島の 創出について

#### 質問

中央生涯学習センターの跡地利用について、中心市街地活性化基本計画には、\*PFI事業等の活用も視野に検討するとあり、大型バスも駐車

できる駐車場が適当であると考えるが、市の考えを問う。



解体の始まった中央生涯学習センター

榎原副市長

中央生涯学習センターの跡地活用については、中心市街地の活性化を創出する上で、大きな役割を果たすものと認識している。今後は、くらし開館による人の流れの変化や近隣商業施設の動向なども踏まえつつ、施設を整備する場合も、駐車場や広場として活用する場合も、それが中心市街地におけるにぎわいをいかに生み出すかという観点から、最も効果的な跡地活用の手法について、検討を進める。

\*PFI…公共施工等の設計、建設、維持管理等に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと。



威信会  
まきお 良二  
牧尾 良二

質問した項目

- 地方創生について
- 東広島版総合戦略について
- 農業政策について
- 学校教育について
- 産業振興について

## 地方創生・東広島版 総合戦略の方向性は！

人口20万人都市への  
取り組みを聞く

質問

国勢調査で、本市の人口を19万3千人との調査結果が出ている。20万人都市達成まであと7千人の人口を確保することとなり、単純計算で、1家族3人として、住宅戸数に換算すると2千3百戸必要で、志和町規模のまちを新たににつくることになり、大変な数字

である。この事業を自然増加に委ねると必然的に中央一極集中になるのではないか。

答 弁／藏田市長

本市の中心部のみならず、周辺部における人口維持への積極的な施策展開が必要であると考えており、今後、各地区の人口推移に留意しながら、まちづくりの基本認識のもと、総合戦略に掲げた取り組みを積極的に推進したい。

## 四つの視点に立った 街づくりの進捗状況

質問

本市のまちづくりに当たっては、成長する都市、生活充実都市、人材育成都市、環境先進都市、以上4つの視点に立ったまちづくりを力強く推進し、日本一住みよいまちの実現を目指す。昨年の年頭の市長挨拶にあったが、この1年の取り組みを問う。

答 弁／藏田市長

総合戦略に示した施策の推進に関しては、平成27年度も、



第四次東広島総合計画

市内中小企業の研究開発支援や保育環境の改善など、主に産業・福祉分野に取り組み、4つの視点に立脚した施策の推進に関しても、本市の第四次総合計画のまちづくり大綱に基づき、施策展開に努めており、現在のところ、概ね順調に推移している。

## 本市の産業振興の 取り組みを聞く

質問

本市の産業は、目指すべき姿の実現に向け、産業構造の複層化、中小企業の高付加価値化、グローバル化への対応、地域及び他産業との連携として方針決定し、取り組んでいるが、この1年間の成果、今後の取り組みを問う。

答 弁／前藤産業部長

この1年間の成果としては、東広島市産業活性化方策に沿った施策を展開し、共同研究プロジェクトの組成を5件、

会派所属議員

牧尾 良二	重光 秋治
宮川 誠子	杉原 邦男
高橋 典弘	山下 守

※平成28年4月現在

市議会だより 2016.6

研究開発プロジェクトの商品化を1件、企業立地件数を3件、起業家養成講座終了者の起業件数を1件、インターンシップ件数を8件、モデル・実証事業で商品化などがあり、フォローアップ活動を継続して実施している。

今後は、現行方策を鋭意進めるとともに、新たな方策の策定に向けて、目標に対する達成度を分析し、本市の強みを活用しながら、地方創生につながる新産業の創出や地域の活性化に努めたい。

## ICT利活用のネットワーク拡充強化を

### 質問

ICT利活用の普及推進を行うための情報伝達手段の基盤拡充について推進策を問う。

### 答 弁／榎原副市長

現在、ブロードバンドサービスを市内の約9割の世帯が利用可能な環境にあり、モバ

イル通信サービスは、ほぼ全域をカバーしている状況で、市内の情報伝達の基盤は、ほぼ整ったものと考えている。

今後は、環境を生かし、第3次東広島市地域情報化計画に掲げた施策の着実な実施と、ICT利活用の取り組みを推進する必要がある。

## 「テレワーク」推進のシステム作りを！

### 質問

ICTを活用した地方創生の具体的推進策である、テレワークの推進について問う。

### 答 弁／榎原副市長

本市の雇用情勢は、全体的に人手不足で、テレワークを利用すれば、労働力の確保に有効な手段になると考えており、若者の雇用創出、高齢者や女性などの人材確保などの可能性を持つものである。

こうしたことから、今後、広島県においても、移転事業所を対象とした助成や、情報サービス事業所などを対象とした助成制度を創設すると伺っているが、市としてもこの動きに対応した支援制度を実施したい。

## 空き家対策ワンストップ窓口・移住助成は！

### 質問

総合戦略のかなめの一つでもある定住・移住に関する空き家対策について問う。

### 答 弁／榎原副市長

空き家バンクのような制度

を活用すれば、希望の物件を探せる可能性が高いことから、住民自治協議会とも連携し、空き家の実態把握に努め、空き家バンクの登録を増やしていきたい。また、定住希望者には不安があると思われるので、新年度設置する定住に関する総合窓口で相談を受け付け、関係部署や地域の住民自治協議会へつなげたい。



空き家バンクに関する市のホームページ

## 有害鳥獣対策は？

### 質問

有害鳥獣対策として、地域で取り組まれている侵入防止

柵の貸与や捕獲報償金の交付などが行われているが、有害鳥獣、特に鹿とイノシシの昨年度の捕獲数を問う。

答 弁／前藤産業部長

昨年度の鹿の捕獲数は772頭で、前年度比で131頭ふえており、また、イノシシの捕獲頭数につきましても、<sup>1,831</sup>頭と、前年度比で461頭ふえており、捕獲については一定の成果が現れている。

### 新年度における重点的な教育目標を伺う

質問

東広島市教育振興基本計画を策定したが、新年度を迎えるに当たり、学校教育レベルアッププランについて、目標への達成状況、継続的に取り組んでいく内容、新年度新たに取り組む事業について問う。

答 弁／下川教育長

育成指標を6点掲げている

が、ほとんどの項目において県や国の平均値は上回っており、着実に向上している。今後事業は継続するが、「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」及び「自分の考えを説明したり書いたりすることは難しいと思われる」の項目については、目標値との開きが大ききことから、重点的に取り組む課題で、来年度より学級経営力向上指定校推進事業、ICT機器を活用した情報教育の推進事業に取り組むが、今後も現状を把握し、事業を充実・深化させたい。



電子黒板を使った授業

### 学び残しといじめについて の対応策は？

質問

①本市の小中学校の学力は、内外からも十分な評価がされている。その中で、推測だが、下位の生徒については得点数のアップができない現状があるのではないかと、これらの子どもたちに対してどのような学習指導がされているのか。  
②文部科学省からいじめに関する対応策が出されているが、本市ではどのように受けとめ、いじめ対策を行っているのか。

答 弁／下川教育長

①学力に課題のある児童生徒に対して個に応じた支援を行っているっており、今年度の学力調査において通過率30%未満の小学生は1.8%、中学生は3.2%で、県の平均を大きく下回っている。取り組みとしては、個別指導やチームティーチング、習熟度別指導や今年度

より新たに教育委員会による学力向上支援チームを組織し、学力の底上げを図ることとしている。

②いじめは、どの子にも、どの学校でも起こり得るという認識を持ち、積極的にいじめを認知し、解消に向けて組織的な対応が大切である。

取り組みについては、いじめに関するアンケートの実施、いじめ防止委員会の設置、本市独自には、トライアングルプランを策定し、東広島いじめゼロ！子どもサミットでの宣言を受け、いじめ撲滅に向けて、児童会、生徒会が主体的な活動を行っている。



トライアングルプラン



創志会  
おぐや 奥谷 もとむ 求

質問した項目

- 新年度予算について
- 攻めの農業へ、農業・農村の活性化について
- 選挙に行こう！若者の政治離れを防ぐには

# 人々から選ばれる、魅力あふれるまちづくり

新しい人の流れを作る  
先駆的な施策は？

質問

①新たな産業団地開発について問う。

②滞在型観光を目指すための周遊ルートの作成について問う。

③移住希望者受入をワンストップで行う体制の整備について問う。

④大学連携型CCRC研究会の設置について問う。

答 弁  
藏田市長  
前延企画振興部長

①民間の産業団地開発支援や公的産業団地の未利用地の利活用の協議に加え、新たな産業団地の整備手法について検討していく。②今ある観光資源の魅力を高め、最大限に活用しながら、関係団体や近隣市町と連携し、観光客の周遊性の向上を図り、本市への滞在時間を延ばすことができ

るよう、観光振興施策を積極的に実施していきたい。③定住促進に関する窓口を市政情報課に置くこととし、U・J・ターンに関する情報発信及び定住促進に取り組む地域の町の特色や魅力に関する情報発信を総括する。④広島国際大学を核とした大学連携型CCRCの構築に向けて、本市にとって最もふさわしいCCRCのあり方について、研究会においてしっかり検討し、確認、調査を進めていきたい。

住んでよかった、  
医療介護健康対策強化

質問

①地域包括ケアシステム構築の進捗度と推進をする上で新たな問題点について問う。

②介護予防事業への取り組みについて問う。

答 弁  
和田福祉部長

①現在、医師、看護師、精神保健福祉士のチームで、認

知症の人と家族に必要な支援やサポート活動を行うモデル事業を実施している。課題としては認知症が疑われる早期の段階で、本人や家族の理解を得ることが難しいことがあげられる。②平成28年度から介護予防・日常生活支援総合事業に取り組み、高齢者の状態に応じた効果的な介護予防を推進することとしている。



いきいき体操ひがしひろしま

より資源化に優れた新  
ごみ処理施設を！

質問

本市におけるごみ処理施設はどこに重点を置いているのか問う。

会派所属議員

奥谷 求 大道 博夫	天野 正勝 玉川 雅彦
---------------	----------------

**答 弁／古川生活環境部長**

※ゼロエミッションの実現と環境学習の拠点施設となる新ごみ処理施設が検討されており、より資源化にすぐれたごみ処理施設の稼働に向け関係機関と十分連携していく。



賀茂環境衛生センター

**農政新時代、攻めの農業に向けた対策は？**

**質問**

本市の特徴を生かした農業の方向性を問う。

**答 弁／前藤産業部長**

本市では競争力の高い持続

可能な農業の確立に向けて取り組んでいるとともに集落法人の設立を推進し、成果を上げていく。今後とも、県やJAと適切な役割分担を行い、経営の高度化を推進し、集落法人の新たな設立に向けて、地域の話し合いを支援していく。

**農業経営力向上、農業構造改革について**

**質問**

- ①中山間地域等直接支払制度の交付金減額の経緯について問う。
- ②土地改良事業支援についての今後の方針を問う。

**答 弁／前藤産業部長**

①本制度は、集落等を単位とし、農用地を維持・管理していくための協定を締結し、農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付するもので、対象農用地をもとに団地を設定し、急傾斜・緩

傾斜の交付単価で金額を算定している。平成27年度に広島県の指導があり、団地設定の見直しと傾斜の再測定を行った。傾斜測定と交付金の算定結果は集落に伝えており、問い合わせには適時回答している。

②土地改良事業は農業者の高齢化や後継者や地域のリーダー不足等により事業化に至らない場合もある。本市としては、担い手への農地集積・集約化等による構造改革と農業の高付加価値化を推進していくためにも、圃場整備事業や土地改良事業を推進していく。

**選挙に行こう！ 若者の政治離れを防ぐ**

**質問**

小学校高学年や中学校にも選挙教育の必要性を問う。

**答 弁／下川教育長**

教育委員会としても若者の

投票率向上に向けて、小・中学校から選挙の仕組みを理解し、選挙に行かなくてはならないという気持ちを育んでいく必要があると考えている。現在、様々な体験的な学習活動を通して、児童生徒みずから選挙の仕組みに対する理解を深めるとともに、選挙に参加することの大切さを実感させている。各学校において、児童生徒一人ひとりが主体的に社会づくりに参画しようとする意欲と実践力を養っていく。



出前講座の様子（小谷小学校）

※ゼロエミッション：人間の経済活動による自然界への排出をゼロにする取組み



誠志会  
のりこし 乗越 耕司  
こうじ

質問した項目

- 指定管理者制度
- 公共施設
- 生涯スポーツ
- 瀬戸内海環境及び再生について
- 東広島市農業施策について

## 東広島市の公共施設・環境・農業の将来は！

指定管理者制度公募・非公募と運営は

質問

①全ての施設の公募・非公募が、指定管理者制度の趣旨に合った選定となっているか。  
②施設運営は、民間活力を活用してもサービス向上や経費削減に限界があるのではないか。  
③公募施設の運営について、予算設定で不都合が起きないかについて問う。

答 弁／松尾総務部長

①全ての施設について民間活力の積極的な活用を主目的とする制度の趣旨に基づき、原則公募としているが、地域密着型の施設などの公募に適さない施設は、非公募による選定としている。②サービスの向上や業務の効率化、経費削減等が期待できる施設に指定管理者の導入を図っている。指定を行う際には、社会情勢

や施設の利用状況等を考慮し、よりよい施設運営が図れるよう取り組んでまいりたい。③施設の開館日数や開館時間のほか、様々な要因を勘案の上、適正な指定管理料を算出し、募集している。想定を大きく超える物価の高騰や利用件数の増加など、創意工夫で解消できない不都合が生じた場合等は、指定管理料の見直しを行うこととしている。



東広島芸術文化ホール  
くらら

### 公共施設の有効活用を！

質問

現在、多くの施設が、設置目的などの関係で、利用や活用に制限があり、有効に活用されていない。市民協働のまちづくりを推進し、地域の活

性化や地域づくりを進めていくためにも、公共施設の積極的な活用について問う。

答 弁／石丸財務部長

これまでと異なる目的地域に施設を提供していくためには、法的な整理の問題や費用の負担についても考慮していく必要がある。公共サービスの精査を行い、各施設の利用実態に配慮し、地域振興や市民協働のまちづくりのより一層の進展を図るといった観点で、有効活用の方策について検討を進めてまいりたい。  
**スポーツ推進委員の役割は！**

質問

①スポーツ推進委員の選任と任命はどのように行われているのか。②市全体及び各地域での活動の状況はどうか。  
③総合型地域スポーツクラブ設立に向けての取り組みの状況について問う。

会派所属議員

乗越 梶谷	耕司 信洋	中平	好昭
-------	-------	----	----

※平成28年4月現在

**答 弁**／大河生涯学習部長

①各小学校区に2名から3名を基本に、体育振興会などから推薦された方を中心に、現在84名を教育委員会が非常勤特別職として任命している。

②市全体の活動としては、市や他の機関の主催事業への協力に加え、研修会などにより、技能の向上に努めている。地域での活動は、地域行事への運営協力などのほか、委員で組織される協議会で情報交換と共有を図っている。③広島大学と連携し、クラブの設立運営に関する具体的なアドバイスが受けられる体制や、育成補助金により設立準備を支援する体制を整えている。スポーツ社会の実現に向けて、スポーツの振興に取り組んでまいりたい。

**三津湾の環境保全・再生の今後は！**

**質 問**

①EM菌の水質浄化推進、カキ残渣による干潟造成事業、アサリの産地再生事業、鉄炭団子散布試験、海底清掃の成果と検証 ②間伐材による漁礁設置の成果・効果の目的及び事業の継続 ③栄養塩不足の対策について問う。

**答 弁**／榎原副市長

①EM菌は、効果について、賛否両論がある状況のため、普及促進までには至っていない。カキ殻などを活用した人工干潟造成事業は、平成27年6月をもって終了したが、3年間の延伸手続を行っている。アサリの産地再生事業は、調査及び広島大学の研究により、生育に最適な環境ではないと結果が出されている。鉄



安芸津町三津湾

炭団子散布試験は、三津湾では、効果が確認されなかった。海底清掃は、エビの漁獲量が増えており、引き続き検証していく必要がある。②間伐材漁礁を設置し、潜水調査では、メバルの稚魚放流による成果もあり、多数のメバルが集まっていた。今後、5年程度の継続調査を実施する予定としている。③広島大学による研究で、施肥材によりカキの重量増加効果があることが確認されている。改善に向けた取り組みを検討してまいりたい。

**東広島農業の将来は！**

**質 問**

①TPPの大筋合意に関する米の安定した収益を確保するための施策について ②東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略の農林水産業の成長産業化の具体的な取り組みについて ③新規園芸就農者と家族の移住定住の目標達成のための施策について問う。

**答 弁**／藏田市長  
前藤産業部長

①国において農林水産業の成長産業化を一層進めるために具体的な内容を詰めることとされている。国の対策や市場の動向等を注視し、担い手の育成と経営の高度化を推進し、経営体質の強化に向けて、農家を支援してまいりたい。②農林水産物の販路拡大推進事業や経営の安定化、有害鳥獣対策、木質バイオマスを有効活用した林業振興事業、漁場環境整備事業などを行う。③青年就農給付金事業による生活支援や初期投資の財政的な支援、研修などにより、定住人口の増加を計画的に推進してまいりたい。



田植え風景



市民クラブ  
あかぎ たつお  
赤木 達男

質問した項目

- 「まちづくり戦略」について
- 日本一住み良いまちづくりについて

# まちづくり戦略と日本一住み良いまちづくり

求められる「まちづくり戦略」の転換

質問

人口増を基調とした経済成長戦略から、人口減少を前提とした少子高齢化社会が必要とする住民ニーズに对应されるものへと転換する必要がある。住民福祉の増進を図る本来の責務と運営の在り方に立ち返る必要があると考えるが、見解を問う。

答 弁／藏田市長

現実を認識し、堅実な行財政運営を進めていく一方で、現状に満足することなく潜在的な力を喚起し、持続的な発展を推進していく必要もある。基本推計を認識しつつ、持続的な発展を示した目標推計の実現に向け、議会を初め、市民の皆様、関係団体、企業など一体となり施策を展開したい。

## さらなる乳幼児医療助成を

質問

入院助成対象を中学3年生まで拡大したことは評価するが、「子育てするなら東広島」を掲げるには不十分である。入院、通院とも中学校卒業までの拡充が必要と考える。少なくとも、病気やけがが多い低学年の小学校3年までの拡充は、早急に拡大する必要があると考えるが、見解を問う。

答 弁／和田福祉部長

本制度の拡充は、多額の財源を要するため、段階的な拡充について、慎重に検討する



親子教室

必要がある。包括的な相談支援拠点の設置や、保育環境の整備など、側面から支援する施策の充実を図っており、総合的に展開し、より一層安心して子育てのできる環境を整備し、子育てに不安や負担を感じている家庭の支援を行っていく。

## 「貧困の連鎖」を断ち切る支援を

質問

生活保護世帯、準要保護児童はふえており、貧困の連鎖が深刻となっている。学園都市力の発揮を実現するために、義務教育課程での修学支援の拡充、高校・大学への進学支援と一体的な支援が必要と考える。高校・大学進学者への奨学金制度の創設について見解を問う。

答 弁／和田福祉部長  
増田学校教育部長

新年度から、子どもの貧困

会派所属議員

石原 賢治	中川 修
赤木 達男	

対策の学習支援事業を、高校進学まで継続するよう、対象を中学3年生まで拡大する。現行の就学援助事業や、学習支援事業等の充実を図るとともに、他の奨学金制度の状況も踏まえ、慎重に検討する。

## 学童保育の充実を

### 質問

全地域での高学年の受け入れを進める方針のもと、順次進めているが、人口密集地における施設整備や指導員の配置など、今後の具体的な計画について問う。



高屋西いきいきこどもクラブ

### 答 弁／和田福祉部長

市中心部は、児童数の急増により、教室の確保や学校敷地内の施設整備が困難な状況にあるが、民間事業者の積極的な活用などにより平成32年までの早い時期に受け入れ開始をしたい。指導員の確保については、補助指導員を任用し、実務経験を積むことで、将来的な指導員の確保につなげていきたい。

## 地域包括ケアシステムと地域医療構想

### 質問

後期高齢者が増える2025年に向け、生活圏域ごとのニーズに基づく施設や介護医療スタッフなど確保が課題であると考える。生活圏域の計画設定と包括ケアシステム構築の進捗状況、病床の現状と県が集約する地域医療ビジョンが策定にどのような関わりを持っているのか。



### 答 弁／榎原副市長

健康づくり・介護予防の推進、在宅生活が継続できる環境整備の推進、認知症地域支援の推進、介護保険事業の充実の項目を基本施策に掲げ、10の日常生活圏域について、高齢化率をもとに3つのグループにまとめ、圏域の特性や施策の取組みの方向性を定めた。

広島中央圏域における病床数は約2500床で、地域医療ビジョンの策定に当たっては、二次保健医療圏ごとに調整会議が設置され、本市も参画し検討を重ねてきた。

構築状況の評価や課題を明確にし、効果的な取り組みの推進を図る。

## 利便性の高い地域公共交通ネットワーク

### 質問

子育て支援や教育行政、医療・介護・保健など福祉行政の観点からの地域公共交通網形成計画はどのように位置づけられているのか。

### 答 弁／前延企画振興部長

持続可能なバス路線網を構築するための公共交通再編実施計画の策定を優先し、利用促進の観点からモビリティ・マネジメントなどさまざまな取り組みを行う。

タクシーを含めた交通事業者との役割分担のもと、高齢者移送サービスや福祉有償連送事業、スクールバス等の通学支援など、福祉や教育分野と連携し、移動手段を確保していく。



公明党  
たけがわ ひであき  
竹川 秀明

質問した項目

- 東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 障害者差別解消法の取り組みについて

質問

国では、がん対策推進基本計画において10年間で75歳未満の死亡率を20%減とする目標を掲げているが、対策の遅れなどにより17%に留まると予想されている。本市の取り組みを伺う。

答 弁／和田福祉部長

がんや生活習慣病の早期発見に重点を置き、元気づけやか健診として集団検診を市内18カ所、各医療機関での健診を87機関で実施している。集団健診では、胃がんなど6つのがん検診と特定健診が一度に受診できる体制を採っている。特に、胃力メラ検査と前

立腺がん検診については、国の指針よりも手厚くし、本市は積極的に実施をしているところである。また、土日健診、女性専用健診日の導入、特定健診の自己負担を無料化するなど、より受診しやすい環境整備に努めている。

周辺地域の活性化

について

質問

農業・農村の活性化において、強い農業づくりの取り組みが必要であると考えるが、具体的な取組みについて伺う。また、有害鳥獣対策の新たな取り組みをどのように進められるのか伺う。

答 弁／前藤産業部長

具体的な取組みとして、共同乾燥調製施設再編にかかる支援や、地域資源を活かした商品開発や商品分析、各種研修による6次産業化支援など産地の収益力の強化、民間企

東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略！

子育て環境の充実

質問

「子ども・子育て新制度」がスタートして1年、全ての子どもに良質な発達環境を保障していく取り組みについて伺う。

答 弁／和田福祉部長

新年度は、結婚に対する意識醸成や子育てに対する不

安・負担感の軽減を図るため、これまで以上に対策を強化し、さまざまな施策を展開することとしている。

具体的な取組みとしては、婚活支援セミナーの開催、日帰り型産後ケアの実施、こども未来フェスタの開催、乳幼児等医療費助成制度の拡充、子育て・保育施設の整備支援などを予定している。

医療・健康対策の強化



業との連携の強化による流通システムの改善、定住をセツトにした新規就農者の獲得などに取り組む。

有害鳥獣対策の新たな取組みについては、専門アドバイザーを活用した地域での研修や、ジビエ加工施設について、捕獲班や専門家の意見を聞くとともに、先進地視察を行い、事例等を検証し、関係者と協議・検討を行ってまいりたい。



共同乾燥調製施設  
(八本松カントリーエレベーター)

## 未来の東広島人の 発掘について

質問

大学生の地元企業への具体的な就職推進について伺う。

答 弁／藏田市長

市内企業の認知不足が、学生の地元就職につながらない要因であり、市内企業の魅力を積極的に発信する。具体的には、取材型インターンシップ事業の実施や新たな雇用を創出するための企業の研究開発部門、本社機能及び試験研究機関の移転に対する優遇措置を講じる。また、産学金官連携の場に学生が気軽に参加できるように手法も検討してまいりたい。

## 東広島市の学園都市力の 発揮について

質問

①大学連携型※CCRC構想の具体的な検討について  
②市内大学との連携強化による連携大学の支援強化について伺う。

答 弁／藏田市長

大学連携型CCRC構想に

については、福祉分野における人材育成を推進する広島国際大学との連携を深めながら、地域課題及びその対応方法についての研究を進める。

市内4大学とは、各協議会、審議会等への参画をはじめ、市職員等の講師派遣、そして産学共同研究に対する助成、また、学生ボランティアの交通安全事業等の活動協力など、全庁的に連携事業を推進している。今後、意見・情報交換の場の充実を図りながら、各大学の強み・特色をより一層活かした戦略的な連携を推進し、地域の活性化につなげる。

## 障害者差別解消法の 取組みについて

質問

誰もが暮らしやすい障害者差別のないまちづくりを目指した本市の取組みについて伺う。

答 弁／榎原副市長

障害者差別解消法の周知や障害の理解を深めるための職員研修の実施、市民や福祉事業所向けの講演会の実施など啓発活動の推進や、職員対応要領の作成や相談体制の整備、合理的配慮の具体例の収集、地域における情報共有や協議を行う障害者差別解消支援地域協議会の設立についても準備を進めている。市民一人一人が障害を理解し、障害のある人もない人も互いに認め合い、支え合える地域共生のまちづくりを進める。



※CCRC…継続的な介護付き高齢者共同体



谷 晴美  
（日本共産党）

質問した項目

- 連携中枢都市構想と地方自治について
- 福祉予算案について
- 広島市の土砂災害の教訓を本市に生かすことについて
- 寺西第2小学校建設問題について

# 広域化と施設の集約は、 合併の二の舞に！

憲法を守り、自治を生かした村を学んで

質問

宮崎県に、診療所、保育所、小・中学校もあり、若者が定住しつつある小さな村がある。幸福度を目標にした結果であり、地方自治のあるべき姿ではないか。小学校単位の住民自治組織が設立されたが、小学校などは統合する方向で進められ、このまま施設の集約

を進めるのか、見解を問う。

答 弁／榎原副市長

地域の状況を勘案しながら、生活機能の確保や学校をはじめとした公共施設の適正配置と有効活用を全市的なバランスも含めて考え、定住促進や産業振興施策等により進めていく。

**ゴミ処理場建設予定地は国有保安林！**

質問

ごみ処理場建設の開発予定地は、土砂災害の危険防止が設置目的の保安林であり、広島市の豪雨災害の教訓が生かされていないと思うが、見解を問う。

答 弁／古川生活環境部長

保安林解除に伴う災害リスクは、開発事業の審査及び指導に係る必要な事項を網羅した県内共通の指導基準が定められている。広島中央工科大学の保安林解除に当たっては、この基準により災害等のリスクに十分配慮した事業計画を作成し、関係機関と協



2014年広島市集中豪雨による被害

議した上で、林野庁が判断されると伺っている。

**寺西第二小学校建設計画検証の対応を**

質問

分離新設校の建設について住民が提訴しているが、建設候補地の選定は、政治から切り離して行われるべきであり、住民の合意をもとに慎重に進められるべきであると思うが、見解を問う。

答 弁／増田学校教育部長

候補地の選定について、市長が教育委員会の独立性を侵したと認めるに足りるものは見当たらないと裁判所は判断している。早期開校について署名をいただいた1768人をはじめとする多くの方々の期待に応え、子どもたちに伸び伸びと学校生活を過ごしてもらえらることを念願し、平成30年4月の開校に向けた計画に沿い鋭意取り組んで行く。

# 第1回定例会 議決した案件

- 条例案…26件 ● 予算案…34件 ● 承認案…2件 ● 諮問…13件
- その他…14件 ● 委員会提出議案…2件 ● 請願…1件
- (● 全会一致可決…75件 ● 賛成多数可決…16件 ● 否決…1件)

## 予算の特徴

平成27年度に「東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。その基本理念である「人々から選ばれる『人口20万人都市』への挑戦」に基づき、本市の魅力を高め、都市活力を向上させるため、次の基本目標を推進します。

### ◎成長エンジン東広島の実現

企業の誘致・留置、新産業の創出・創業支援、農林水産業の成長産業化、観光の振興

### ◎未来の東広島人の発掘

移住・定住の促進、学生等の地元定着の促進

### ◎東広島の学園都市力の発揮

大学との連携強化、学生の地域活動の促進

### ◎子育てするなら東広島！の実現

子育て環境の充実、教育環境の充実

### ◎安心・快適な東広島の創出

医療・健康対策の強化、中心市街地の機能強化・周辺地域の活性化、まちづくりの推進と交通ネットワークの充実、環境先進都市の構築

## Pick Up

# 平成28年度 一般会計予算を可決

歳入歳出予算の総額は742億3千万円で、過去最大となった前年度と比べて4.0%の減となりましたが、引き続き大型事業を推進することから、過去二番目の予算規模となっています。

## 主な新規事業

- ICT機器を活用した情報教育の推進 1,583万円
- 小中一貫校の整備 3,700万円
- 妊娠・出産・育児支援の充実 1,113万円
- 小児科新規開業支援 1,000万円
- 夜間・休日急患センター設置の検討 4,629万円
- スマートコミュニティ実現に向けた調査検討業務 3,078万円
- 中小企業の事業高度化支援 1,593万円
- 新たな産業団地の整備検討 9億9,714万円
- 大学連携型CIRC構想の検討 515万円
- 就業体験促進事業 608万円
- 移住・定住の促進 31万円

Select.1

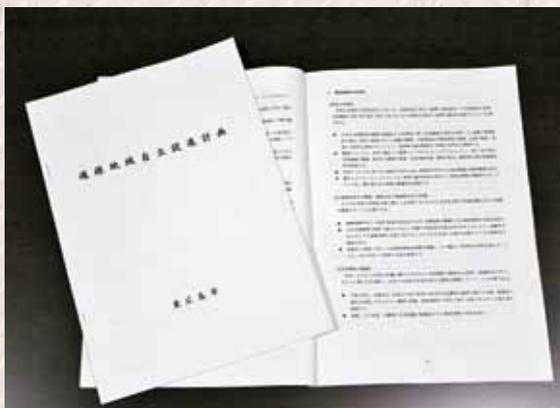
〈議案第16号〉

# 過疎地域自立促進計画を策定

「過疎地域自立促進特別措置法」の有効期限が5年延長されたことに伴い、現行計画を改め、平成28年度から平成32年度までを計画期間とする「過疎地域自立促進計画」を策定しました。

## ◎計画の概要

- ①対象地域  
福富町・豊栄町・河内町
- ②計画期間  
平成28年4月1日から  
平成33年3月31日まで
- ③重点施策
  - ア 産業の振興
  - イ 交通通信体系の整備、  
情報化及び地域間交流  
の促進
  - ウ 生活環境の整備
  - エ 高齢者等の保健・福祉  
の向上及び増進並びに  
医療の確保
  - オ 教育の振興
  - カ 地域文化の振興等及び  
集落の整備



### 過疎地域自立促進計画

過疎地域とみなされる区域において、総合的かつ計画的な対策を実施するために策定するものです。

Select.2

〈議案第18・19号〉

# 財産(土地)を取得します

東広島運動公園多目的グラウンドの拡張整備に係る用地、及び(仮称)寺西第二小学校の新設に係る用地を、先行取得していた東広島市土地開発公社から買い戻します。



東広島運動公園多目的グラウンド拡張用地

- 東広島運動公園多目的グラウンド用地  
取得する財産  
西条町田口字大幡 8筆  
1万9千167㎡余  
取得価格  
2億2千973万円余
- (仮称)寺西第二小学校用地  
取得する財産  
西条町寺家字横田 13筆  
1万5千025㎡余  
取得価格  
8億5千691万円余

Select.3

〈議案第30号〉

# 東広島市消費生活センター条例 の制定について

消費者安全法の一部改正に伴い、東広島市消費生活センターの設置、組織及び運営に関する事項等を定める条例を制定しました。

## ◎消費生活センターとは

消費者と事業者との間で起きた契約に関するトラブルや、製品事故、多重債務などについて消費者からの相談を受け付ける市の組織です。

## ◎条例で制定された事項

- ①消費生活相談員資格試験合格者又は合格したとみなされる者を消費生活相談員として配置すること。
- ②消費生活相談員の研修機会を確保すること。
- ③消費生活相談員の継続的な雇用を可能とする。



消費生活センター

### ◎東広島市消費生活センター

- ・開所日時  
平日 9時～12時、13時～17時
- ・場所  
市役所北館 1階
- ・電話番号  
082-421-7189  
※電話での相談可

Select.4

〈議案第31号〉

# 認定こども園を設置

小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進するため、竹仁保育所、久芳保育所及び豊栄保育所を認定こども園に移行します。

## ◎設置に関する主な内容

○設置理由：幼稚園が設置されていない、福富、豊栄地域にある公立保育所を、認定こども園に移行することで、当該地域における、小学校就学前の子どもに対する、子育て支援の、総合的な提供を推進しようとするもの。

○保育料：国が定める基準を上限として、本市が定める保育料に関する規則に基づき、世帯の収入に応じて負担する。

○設置時期：平成28年4月1日



認定こども園に移行した久芳保育所

### ◎認定こども園で行う事業

1. 保育を必要とする全ての子どもに対する保育の提供
2. 全ての満3歳以上の子どもに対する、幼稚園で行う、教育と同等の保育の提供

Select.5

〈議案第32号〉

# 空家対策に関する 条例を制定

空家等の適切な管理に必要な事項を定め、事故、火災、犯罪等を未然に防止し、良好な生活環境の保全と安全で安心なまちづくりの推進するために制定しました。

## ◎基本理念

市と所有者、市民等が協働、協力し、空家の利活用促進や空家発生の抑制に取り組むことにより、快適な生活環境の確保、活力ある地域づくりにつなげる。

## ◎市の責務

- 空家対策計画の策定
- 計画に基づいた施策の実施
- 市民等への意識啓発
- 東広島市空家等対策協議会の設置

## ◎市民の責務

- 市への空家の情報提供
- 地域の良好な生活環境の保

全と市の施策への協力

## ◎こんな質疑がありました

- Q 協議会の人数と構成はどのように考えているのか。
- A 8名以内で、外部委員として司法書士、宅地建物取引業士、土地家屋調査士、建築士、社会福祉協議会、大学教授などで構成する予定としている。
- Q 所有者のわからない空家をどのように把握するのか。
- A 「空家等対策の推進に関する特別措置法」により、税情報を活用することが可能となり、納税義務者等から把握できると考えている。

Select.6

〈議案第45号〉

# コンビニで 印鑑登録証明書が受け取れます

マイナンバーカード（個人番号カード）を利用して、平成28年7月からコンビニエンスストアで印鑑登録証明書の発行ができるようになります。

## ◎利用できる人

- 次のすべてに該当する人。
- マイナンバーカード（個人番号カード）の交付を受けている人
- 利用者証明用電子証明書の発行手続きを行って暗証番号を設定している人
- 印鑑登録をしている人



マイナンバーキャラクター  
マイナちゃん

## ◎利用開始時期

平成28年7月中の利用開始を目指しています。

## ◎利用方法

コンビニエンスストアの多機能端末から発行できます。



マイナンバーカード（個人番号カード）

Select.7

〈議案第46号〉

# 乳幼児等医療費支給を拡充

乳幼児等の入院等に係る医療費の負担を軽減するため、乳幼児等医療費の支給対象となる乳幼児等の範囲を、0歳から満15歳に達する日以後の最初の3月31日までに拡大されます。

## ◎見直しの目的

少子化に対応する、子育て支援策の一環として、時代の要請や、市民ニーズの高まりに応えながら、段階的に、制度改正を重ねてきており、更なる、子育て支援の一助として、乳幼児等の入院等に係る医療費の負担を軽減するため、支給対象の範囲を拡大するもの。

◎改正時期：平成28年4月1日

### 乳幼児等医療費助成の概要

年 齢	助成対象	一部負担金（自己負担の額）
就学前まで	入院・通院	1 医療機関につき 入院 1日500円／月14日まで 1 医療機関につき 通院 1日500円／月4日まで
小学校1年～ <b>中学3年生</b> ※拡充部分	入院のみ	1 医療機関につき 入院 1日500円（月14日）

Select.8

〈議案第50号〉

# 企業立地促進助成制度の拡充

企業立地を促進し、既存の企業が行う工場等の更新を支援することを目的として、助成措置に係る要件の緩和及び助成額が拡充されます。

## ◎拡充のポイント

### <助成措置の対象>

新規雇用する常用の従業者に係る要件を緩和

区 分	現 行	改 正
学術・開発研究等施設における新規雇用常用従業者の数	10人以上	<b>5人以上</b>
雇用水準の維持期間	操業開始後10年間	操業開始後10年間（ <b>投下固定資産総額が100億円以上であるものにあつては、操業開始後5年間</b> ）

改正時期：平成28年4月1日

### <助成金>

学術・開発研究機関に係る助成金を引き上げ

区 分	現 行	改 正
土地取得助成金	土地取得に要した費用のうち、規則で定める金額に100分の20を乗じて得た金額	土地取得に要した費用のうち、規則で定める金額に <b>100分の30</b> を乗じて得た金額
施設整備助成金	家屋及び償却資産に係る取得費用のうち、規則で定める金額に100分の5を乗じて得た金額	家屋及び償却資産に係る取得費用のうち、規則で定める金額に <b>100分の10</b> を乗じて得た金額

改正時期：平成28年4月1日

Select.9

〈議案第53号〉

# 火災予防条例を改正

消防法施行令の改正等に伴い、対象火気設備に関する基準等を改めるとともに、消防用設備等の技術上の基準に違反する防火対象物の公表制度が創設されます。

## ◎ 条例改正の背景

平成24年5月に発生した福山市のホテル火災（死者7名・負傷者3名）や、近年、比較的小規模な施設において、多数の人的被害を伴う火災が発生していることを踏まえ、対象火気設備に関する基準等を改める。

## ◎ 改正の内容

① ホテル、病院及び社会福祉施設等の用途が含まれている防火対象物について、延べ面積に関わらず、自動火災報知設備などを設置することが義務づけられたことに伴い、設置基準を整備する。

② 不特定多数の方などが利用する建物について、自動火災報知設備、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備などの設置状況が、法令等に違反する場合は、その旨を市ホームページなどにより公表することができる。（平成30年4月1日から）

③ ガスグリドル付コンロ等について、火源から天井や壁等までの距離に関する基準を定める。



Select.10

〈議案第86号〉

# 平成28年度下水道事業会計 予算を可決

平成28年度から、公共下水道事業に地方公営企業法に基づく財務規程等を適用し、公営企業会計を導入しました。これにより、計画的な施設の維持管理、費用対効果に主眼を置いた運営などが期待できます。

## ◎ 予算の特徴

### 重点方針①

#### 【下水道経営の健全化】

処理場の施設管理業務などの維持管理費を抑制するとともに、使用料などの滞納整理、未接続者への普及活動などを行い、経営の健全化に取り組む。

### 重点方針③

#### 【災害に強い下水道の構築】

災害を未然に防止し被害を最小限に食いとめるため、大雨時の浸水対策や下水道施設の耐震化を進める。

画的に進める。

### 重点方針②

#### 【計画的効率的な施設の建設と更新】

早期に未普及地域を解消するため、事業の選択と集中を図ることにより、事業効果を高める。また、下水道サービスを継続して安定的に供給するため、施設の長寿命化を計



東広島浄化センター

Select.11

〈議案第87号〉

# 広島市と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結

連携中枢都市圏である広島広域都市圏（広島市の都心部から約60kmの圏内にある11市13町で構成）を形成するため、広島市と連携協約を締結しました。

## ◎連携協約の内容

人口減少・少子高齢社会にあっても、広島市と東広島市が、圏域全体の経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化などに関する取り組みを協力して実施する。

## ◎東広島市が連携して行う主な取り組み

- 病児・病後児保育事業及び一時預かり保育事業の広域利用
- 下水汚泥の共同処理の検討
- 交流・移住・定住の促進

広島広域都市圏



Select.12

〈委員会提出議案第2号〉

# 子ども医療費助成の制度化を求め意見書を提出

子育て支援の観点から、全ての子どもを対象とした医療費助成を国において早急に制度化するよう内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣に意見書を送付しました。

## ◎意見書の要旨

少子化対策の抜本的な強化を図らなければならない状況の中、子どもの医療費助成は、全ての都道府県において、様々な助成制度として実施されている。しかし、厳しい財政状況の中での地方単独事業であるため、助成対象年齢や自己負担額などに地域間格差が生じている。

国は、人口減少問題に真正面から取り組むとして、各自治体に地方版の「人口ビジョン」や「総合戦略」の策定を求めているながら、子ども医療費への助成に当たっては、窓口負担を軽減すると国庫負担

金が減額されるということは、理論的に矛盾している。

よって、国においては、子育て支援の観点から、全ての子どもを対象とした医療費助成を早急に制度化するよう強く要望する。



## 議案の審査経過

表決が分かれた案件の表決結果

議案番号▶		議案第16号	議案第19号	議案第29号	議案第31号	議案第40号	議案第45号	議案第50号	議案第54号	議案第66号	議案第71号	議案第72号	議案第73号	議案第74号	議案第85号	議案第86号	議案第87号	請願第1号
会派名	議員名																	
創生会	岩崎 和仁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	貞岩 敬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	岡田 育三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	坪井 浩一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	北林 光昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	加藤 祥一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	重森佳代子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	池田 隆興	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
威信会	鈴木 利宏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	重光 秋治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	宮川 誠子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	杉原 邦男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×
	高橋 典弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
創志会	山下 守	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議
	牧尾 良二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	天野 正勝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	大道 博夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
公明党	玉川 雅彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	奥谷 求	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	加根 佳基	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
市民クラブ	竹川 秀明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	小川 宏子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	中川 修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
誠志会	石原 賢治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	赤木 達男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	乗越 耕司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
日本共産党	中平 好昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	梶谷 信洋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
街おこしめざす会	谷 晴美	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
	大谷 忠幸	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「除」は除斥になります。

## 本会議の討論

### ●議案第16号

(過疎地域自立促進計画の策定)

反対

谷 晴美議員

学校の統合や認定こども園の

施設の集約化、幼稚園・保育所

機能の統合が含まれており、反

対する。

### ●議案第16号

(過疎地域自立促進計画の策定)

賛成

高橋 典弘議員

そもそもこの計画は、過疎地

の復興、活性化のための財源で

ある過疎債の活用を可能とする

ための措置であり、賛成する。

### ●議案第19号(仮称)寺

西第二小学校用地の取得)

反対

大谷 忠幸議員

東広島市土地開発公社から取

得するとあるが、これらの土地

は、地権者から直接、東広島市に売買され、既に所有権移転がなされている。これは本来、議会の議決を経た後に所有権移転されるべきものであり、法令違反を犯している。

●議案第19号（仮称）寺西第二小学校用地の取得

賛成 石原 賢治議員

登記がされていても、市と公社の協定が履行されて初めて権利が移ってくるということであり、その内容も適正である。

●議案第19号（仮称）寺西第二小学校用地の取得

反対 谷 晴美議員

用地の選定時に問題があり、住民が提訴した経緯もある。学校建設は一旦白紙撤回し、再度教育委員会は住民対応すべきである。

●議案第29号（地方活力向上地域における固定資産税の特例）

反対 谷 晴美議員

民間の都市開発事業の規制緩和であり、民間企業の進出に対する優遇と判断し反対する。

●議案第29号（地方活力向上地域における固定資産税の特例）

賛成 宮川 誠子議員

地域・地方を活性化するために、企業の本社機能を地方に移転することを促進しようという目的で提案されているものであり賛成する。

●議案第31号（認定こども園設置及び管理条例の制定）

反対 谷 晴美議員

離職率の高い保育士の処遇改善が急がれている中で、保育士と幼稚園の免許をあわせて持つ人材頼みとなっており、保育士の負担は大変大きいと想像されるため反対である。

●議案第32号（空家等の適切な管理に関する条例の制定）

賛成 北林 光昭議員

今後速やかに実施されるので

ろう空家等の実態調査を踏まえた上で、これからの東広島市のまちづくりが大きく寄与するものと考え賛成する。

●議案第40号（人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正）

反対 谷 晴美議員

この条例の中には人事評価制度が盛り込まれている。民間企業でも導入後、見直し、取りやめている企業もある中、今導入する必要はないと考える。

●議案第45号（印鑑条例の一部改正）

反対 谷 晴美議員

印鑑証明の発行にマイナンバーを導入する内容であり、デメリットしかないマイナンバー制度は中止する必要性から、本案に反対する。

●議案第46号（乳幼児等医療費支給条例の一部改正）

賛成 谷 晴美議員

子どもの入院費の負担軽減が

小学校卒業から中学校卒業までに拡充される内容で、11年ぶりの制度改正であり評価する。

●議案第50号（企業立地促進条例の一部改正）

反対 谷 晴美議員

大企業や特定の企業にさらに特別の税制の優遇をすることは問題はあります。

●議案第50号（企業立地促進条例の一部改正）

賛成 宮川 誠子議員

特定の企業というよりも研究部門を持つ企業を誘致するための条例改正であり、学園都市である本市の特性に合った改正である。

●議案第54号（平成27年度東広島市一般会計補正）

反対 谷 晴美議員

本案には、寺西第二小学校建設用地の取得費、マイナンバーカードの利用に関する整備費などが含まれており反対である。

●議案第54号（平成27年度東広島市一般会計補正）

賛成 宮川 誠子議員

地方創生加速化交付金に関連して前倒しで補正予算を組んだもので、定住促進、特産品の販路拡大等々、魅力のある事業を組まれており、賛成する。

●議案第54号（平成27年度東広島市一般会計補正）

賛成 高橋 典弘議員

この補正予算により、よつやく私たちも地方創生に向けてスタートが切れたと確信した。よって賛成する。

●議案第66・71～74・85・86号（平成28年度予算関係）

反対 谷 晴美議員

本予算案は、市民格差の是正よりも、進出企業への利益が優先となっている。また地方創生と言いつつ、一層地方の疲弊を加速させている。住宅政策では公的支援を強める内容になっ

ていない。3,700万円の国からの支援金は国民健康保険税の引き下げに活用すべきだ。一昨年引き上げられた消費税増税分の水道料金改定は大変な市民の負担増となっており、見直すべきだ。

●議案第66号

（平成28年度一般会計予算）

賛成 高橋 典弘議員

短期、中長期の財政推計における財政状況を把握する中で、持続可能な予算編成になっていると判断し賛成とする。

●議案第71号（平成28年度産業団地造成事業特別会計予算）

賛成 重光 秋治議員

定住促進のためには、まず働く企業の誘致が先決となる。雇用の促進、定住促進のために期待される事業であり賛成する。

●議案第72・73号（平成28年度国保後期高齢者医療特別会計予算）

賛成 宮川 誠子議員

限られた財源の中で、市は工

夫して健康増進を図り、あるいはジェネリック等々、医療費の抑制も図るといふ工夫をし、それを予算に盛り込んでやっている。適切であり賛成する。

●議案第85・86号（平成28年度水道・下水道会計予算）

賛成 加藤 祥一議員

東広島が19万人都市になり、飲料水の確保が一層重要となっており、広島県用水からの受水については年度ごとに基本水量の低減ということも順次行っている。また、消費税増税に関しては、国の施策であり、この予算には関係しない。

●議案第87号（広島市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の協議）

反対 谷 晴美議員

地域の身近な自治体が消滅し、中心部と周辺部との格差が一層広がり、人口はますます減少することが懸念される。よって本案には賛成できない。

●議案第87号（広島市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の協議）

賛成 高橋 典弘議員

中央集権から強い地方の時代を模索するために、地方自治法が改定され連携広域行政を推進することになった。本当に地方を活性化させるために何をすべきかを真剣に模索する場が、この協議だと認識しており賛成する。

●請願第1号（都市計画道路丸山榎原線計画変更に関する請願）

賛成 谷 晴美議員

東広島呉道路の開通で黒瀬町の国道の交通量が3割減っており、25年前に計画された丸山榎原線は、交通環境も変わっており計画変更が必要だ。

# 委員会審査概要

## 総務委員会

●議案第54号  
(一般会計補正予算)

**Q** 緊急告知ラジオに係る経費が減額となっているが、普及状況はどの程度か。

**A** 現時点で9,260台が普及しているが、今年度に入ると、伸び率が大幅に鈍化している。市としても、緊急告知ラジオは防災情報伝達手段としての中心的な役割を持つものであると認識しており、今後は、教育委員会と連携した防災教育や、住民自治協議会・自主防災組織を通じた要支援者への普及にも力を入れていきたい。

**Q** 定住促進事業が増額となっているが、具体的な内容は何か。

**A** 首都圏からの移住志向の高まりを受けて、これまで参加していなかった東京及び大阪で開催される定住フェアへ参加する経費などを計上している。なお、本事業は、地方創生加速化交付金を活用して実施するものである。

●議案第87号  
(連携中枢都市圏形成について)

**Q** 制度上、広島市が中心になると思うが、今後の協議において本市の独自性が失われることがないよう十分に協議してもらいたい。

**A** 本市が持つ大学や試験研究機関といった、本市特有の資源を最大限活用するなど、東広島市の主体性を重視しながら、広島市との協議を進めていく。

## 文教厚生委員会

●議案第31号(竹仁・久芳・豊栄保育所を認定こども園に移行)

**Q** 保育園と幼稚園とが一緒になったような形だが、指導にあたっては別々に行われるのか。

**A** 同じ部屋で保育と教育を行い、これまでと内容的には変わらない。



認定こども園に移行した竹仁保育所

## 建設委員会

●議案第32号(空家等の適切な管理に関する条例の制定)

**Q** 空家の実態調査を住民自治協議会等をお願いするとあるが、いつごろから開始してどの程度の調査なのか。

**A** 平成28年5月頃から開始し、空家等の外観調査をお願いする予定である。



# 議 会 報 告 会 を 開 催 し ま す



## 総務委員会議会報告会

- ◆開催日時：平成28年7月19日（火）  
19時～20時30分
- ◆開催場所：道の駅「湖畔の郷 福富」  
多目的ホール
- ◆報告内容：
  - 第1部 議会からの報告  
「地方創生について」  
「過疎地域自立促進計画について」
  - 第2部 意見交換会  
「地方創生について」ほか



## 文教厚生委員会議会報告会

- ◆開催日：平成28年7月26日（火）  
19時～20時30分
- ◆開催場所：八本松地域センター ホール
- ◆報告内容：
  - 第1部 議会からの報告  
「子育て支援について」
  - 第2部 意見交換会  
「子育て支援について」ほか



## 市民経済委員会議会報告会

- ◆開催日時：平成28年7月14日（木）  
19時～20時30分
- ◆開催場所：東広島市安芸津生涯学習センター  
4F 研修室403
- ◆報告内容：
  - 第1部 議会からの報告  
「第1、2回定例会の議決」
  - 第2部 意見交換会  
「地方創生について」ほか



(寺家新駅イメージ図)

## 建設委員会議会報告会

- ◆開催日時：平成28年7月19日（火）  
19時～20時30分
- ◆開催場所：寺西地域センターホール
- ◆報告内容：
  - 第1部 議会からの報告  
「第1、2回定例会の議決」
  - 第2部 意見交換会  
「寺家新駅周辺地区の整備について」  
ほか

## 「仏作って魂入れず」

ゆみば ひろむ  
弓場 弘 (河内)

私たちが待ちに待っていた体育施設がわが町にオープンしたのは昨年の2月、それは地域のスポーツ振興に大きく貢献するものと期待を集めたのは言うまでも無い。しかし、市から管理運営を任された「入野自治組織篁の郷」がビックリしたことは、市が設定した管理費があまりにも少額であったため、電気料金も払えないということだ。節電のために施設内の換気扇を停止したところ、いたる所に水溜りができる始末（後に結露によるものと判明）。このままでは施設を閉鎖する事態になりかねない。そんなことになれば、まさに「仏作って魂入れず」で、笑うしかない。市にももの申す。予算を確保して「河内スポーツアリーナ」に魂を入れろ。

## 市民の声

「The letter from a citizen」

## まちづくりに期待

みょうれい ひろき  
明禮 宏輝 (西条)

一昔前にはどの街にも商店街というものがあり賑やかでしたが、ここ数年、どの街も同じ風景になりました。街中や道路も綺麗に整備されチェーン店が並び、街の個性が無くなったように感じます。買物は車で行くような店が多い反面、車を持たない高齢者や遠隔地に住んでいる買物難民と言われる住民への対応にも目を向けて欲しいと思います。

まちづくりには市民も参加し地元企業や個人商店や自営業者とも連携したまちづくりが地域の住民との交流にもつながり、また文化や歴史の継承にもつながる場に発展できればと望んでいます。

そのためには市の役割も重要になり、今後は街がどのように変わっていくのか見守っていき、期待したいと思っています。

## 平成28年第2回定例会の日程

### 6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 初日	4
5	6	7	8	9	10	11
		常任委員会 (議案審査)				
12	13	14	15	16	17	18
		本会議 (一般質問)				
19	20	21	22	23	24	25
		常任委員会 (議案審査)			本会議 (議案審議)	
26	27 予備日	28	29	30		

### ■委員会等のインターネット中継

常任委員会や全員協議会の様子が、インターネットライブ中継で視聴できます。市議会ホームページからアクセスできます。

### ■本会議・委員会の傍聴

傍聴は当日議会事務局で受け付けます。ご不明な点は議会事務局 (082) 420-0966へお問い合わせください。

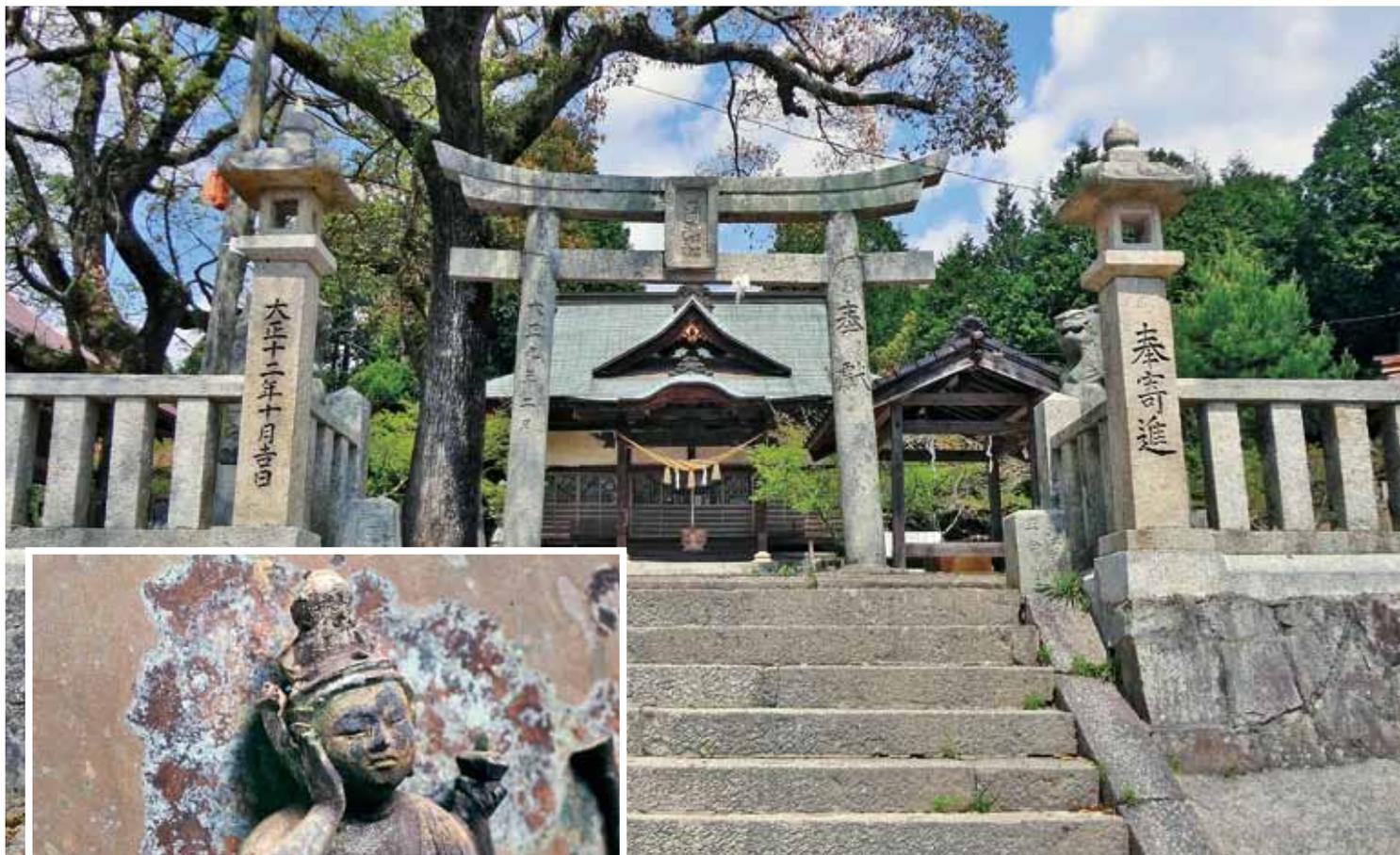
<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/shi-gikai/>

東広島市議会

検索



耳マーク



### 懸仏 (19面の中の一つ)

1395年、現在地に鎮座と伝えられる。19面の懸仏が市の重要文化財に指定されている。懸仏は鏡の中に仏を半肉彫で表現したもの。鎌倉時代から室町時代にかけてのもので、1社にこれほど残る例は県内にない。

## 市議会だより

■発行／東広島市議会  
■編集／広報聴取委員会  
〒739-8601  
東広島市西条栄町8番29号  
TEL.082-420-0966  
FAX.082-424-9465  
(議会事務局)

<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/shi-gikai/>



### Editor's postscript

## 編集後記

2016年度予算議会編集を終えて

七会派の代表質問・一般質問の論戦の中心は「地方創生」がキーワード。高齢化の進む地域のまちづくりに必要な施策は何か？市長の提案の議会チェック欄も見どころです。是非、一ページ一ページ、目を通していただき、感想をお寄せください。本年度は議会

報告会も地域を分けて委員会ごとに開催されることになりました。日頃見慣れない議員の顔を見る機会です。ホットな情報に足を運んでください。

谷 晴美